取扱説明書

NVG-M2.5

アウトドア登山向けナビゲーションシステム

- この度は、 ヤマナビをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
- この「取扱説明書」はヤマナビの機能の説明や基本的な使い方を掲載しております。
- お読みになった後は、本書をいつでも見られる所に大切に保管して下さい。

！ご注意！

本商品は、登山時により安全かつ安心に行って頂くための商品となりますが、登山者の登山の安全の保証を行うものではありません。

本商品だけではなく、非常時の場合に備えた準備を事前に考慮の上、登山をお楽しみ下さい。また、登山時に少しでも危険等を感じられた場合には、登山仲間等とご確認の上、適切な判断をされますようお願い致します。

ヤマナビの地図表示等が実際の状況と異なる場合がございます。実際の状況が正確としてご認識頂き、安全な登山をお楽しみ下さい。

本書について
本書では、本体機能としての基本操作、システム設定、メディアプレイヤー操作をメインに掲載しています。
ナビゲーション操作について詳細は、**「ナビゲーション操作説明書」**をご覧ください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容を理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
	絵表示の例: この記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

安全上のご注意

登山やトレッキングなどを楽しむときは、本機の地図だけに頼らず、登山マップやコンパスなどを利用し、天候や周囲の状況をよく確認して安全を第一に行動してください。

⚠警告

禁止

分解や改造をしない
火災や故障の原因となりますので、絶対に分解や改造は行わないでください。

禁止

付属のACアダプター以外では、充電しない
充電するときは、必ず付属のACアダプターを使用してください。火災や故障の原因になります。

禁止

本体や電池パックを火中に投入しない
破裂や火災の原因になります。

禁止

ほこりの多いところでは使用しない
火災や故障の原因になります。必ず付属の防水パックに入れて使用してください。

禁止

本製品を船舶などには使用しない
本製品の地図は、登山やトレッキングなどのナビゲーションを目的に作られています。絶対に他の目的で使用しないでください。事故の原因になります。

強制

航空機や病院内では使用しない
周辺の機器や計器が誤作動を起こすなど、悪影響を与えるおそれがあります。必ず電源をお切りください。

禁止

故障した状態で使用しない
そのまま使用し続けると火災や事故の原因になります。アフターサービスセンターへご連絡の上、修理を依頼してください。

強制

発火、発煙、異臭、高温など異常が発生した場合は、ただちに使用を中止する
そのまま使用し続けると、事故や火災の原因になります。

強制

雷が発生しているときは使用しない
被雷の危険性があるため、電源を切り、使用を中止してください。

⚠注意

直射日光のあたる場所や炎天下の車内などに長時間放置しない
やけどや火災、故障の原因になります。

適度な音量で使用する
周りの音が聞こえず事故の原因となったり、聴力に障害を与える原因となります。

長時間使用しない場合は、ACアダプターを抜いておく
火災や故障の原因になります。

濡れた手で操作しない
感電や故障の原因となります。必ず付属の防水パックに入れて使用してください。

先のとがったものや強い力でディスプレイを操作しない
破損やけがの原因となります。

使用上のご注意

●無理な力や落下などの強い衝撃が加わると液晶画面や内部基板などが破損し、故障の原因となりますので取り扱いには注意してください。
●携帯電話や無線機の近くで使用するとそれらの機器に雑音などの影響を与える場合がありますので、なるべく離れて使用してください。
●長時間使用すると温かくなる場合がありますが異常ではありません。
●気温が急激に変化する場所(暖かい山小屋やテントから外に出た時など)で使用すると、本体内部が結露し、故障の原因になります。
●本製品は国内専用です。海外ではご使用になれません。
●SDHCカード/microSDHCカードスロットや端子などに異物を挿入しないでください。故障の原因となります。

免責事項

●**本製品は、あくまでも登山やトレッキングなどを楽しむための補助としてご使用ください。本機の地図だけに頼らず、登山マップやコンパスなどを利用し、天候や周囲の状況をよく確認して安全な判断をお願いします。注意を守らずに発生した事故や遭難の損害については当社では一切の責任を負いかねます。**
●スキーやスノーボードなどでのバックカントリー(スキー場の滑走禁止エリア)の滑走には使用しないでください。
●本製品の使用、または使用不能による付随的な損害(事業利益の免失、記録内容の焼失など)に関して、当社では一切の責任を負いかねます。
●お客様が本体やSDHCカード/microSDHCカードへ登録された個人情報は、お客様の責任において管理を行ってください。特に本機を第三者へ譲渡したり、廃棄する場合はお客様の責任において消去等の処置を行ってください。登録された情報による損害に関して、当社では一切の責任を負いかねます。
●液晶パネルは、非常に精度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があり得ますので、あらかじめご了承ください。

お手入れについて

●ホコリや汚れを落とすときは、キレイで乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合には、中性洗剤を薄めた水溶液を布に湿し、よく絞ってから汚れを拭き取ってください。ベンジン･シンナーなどの有機溶剤やアルコール類は絶対に使用しないでください。

リチウムポリマー電池パックについて

⚠危険

●リチウムポリマー電池パックが液漏れを起こしている場合は、絶対にさわらない。バッテリーの液体が皮膚に付着すると負傷するおそれがあります。また、目に入った場合は失明のおそれがあります。

・バッテリー液が皮膚や衣類に付着したときは、ただちにきれいな水で洗い流してください。

・バッテリー液が目に入ったときは、目をこすらずにきれいな水で洗い流し、医師の診察を受けてください。

⚠警告

●リチウムポリマー電池パックの取り扱いには、十分に注意してください。

・付属のACアダプターや指定された充電器以外では充電しない。

・火中に投下しない。分解･改造をしない。

・火のそばや直射日光の当たる場所、炎天下の車内などに放置しない。

・外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけない。

⚠注意

●リチウムポリマー電池パックは、リサイクル可能な資源ですので、使用済みの電池パックは、端子部に絶縁テープを貼り、充電式電池パックリサイクル協力店または販売店にお持ちください。

Li-ion

商標、著作権およびライセンスについて

●Windows MediaおよびWindowsは、米国及びその他の国で登録されているMicrosoft Corporationの商標または登録商標です。

● microSDHC、microSDロゴはSD-3C, LLCの商標です。

●その他、記載されている製品･システム名は各社の商標または登録商標です。なお、TM、® マークは本文中では明記しておりません。

製品の特徴

本製品は、登山用ナビゲーション端末となります。

本体機能

- 小型軽量な本体に高解像度カラーディスプレイを搭載。
- 縦型３インチタッチパネル対応となります。
- microSDHCカードに国土地理院データベースを収録。
- 防水性能IPX-6対応。

ナビゲーション･ソフトでできること

正確な位置情報と方位情報を取得可能！

好感度GPSモジュールを採用し、GPS信号が受信しにくい場所でもしっかりとGPS情報を受信することができます。

簡単に登山ルートを作成

カーナビゲーションのように本機のタッチ操作で目的地や経由地を設定して、登山ルートを作成することができます。登山ルート設定後は、「断面図表示機能」で各地点区間の距離・高低差および所要時間を確認することができます。

国土地理院最新データを採用

国土地理院発行の最新データを採用し、全国をmicroSDHCカード2枚に収録（東日本編、西日本

ナビゲーションのしくみ

GPSによる測位

GPS衛星(人工衛星)から位置測定用の電波を受信して、現在地を測位するシステムがGPS(Global Positioning System:グローバルポジショニングシステム)です。

GPS衛星は、地球の周り高度21,000 kmに打ち上げられています。3つ以上のGPS衛星の電波を受信すると、測位が可能になります。GPSによる測位には、3次元測位と2次元測位の2種類があります。

種類	内容
3次元測位	GPS衛星の電波を良い状態で受信できたときは、緯度･経度･高度の3次元で測位できる。
2次元測位	GPS衛星の電波を受信できても、受信状態があまり良くないときは、緯度･経度の2次元で測位する。高度は測位できないため、3次元測位のときよりも測位の誤差がやや大きくなる。

誤差について

次のような状況のときは、誤差が大きくなることがあります。

GPS測位不可による誤差

- 次のような場所にいるときは、GPS衛星の電波がさえぎられて受信できないため、GPSによる測位ができないことがあります。

屋内やトンネルの中

密集した樹木の間

- 次のような場合は、電波障害の影響で、一時的にGPS衛星の電波を受信できなくなることがあります。
  ※携帯のテレビで56チャンネル (UHF) を受信している。
  ※GPSアンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている。

GPS衛星自体による誤差

- GPS衛星は米国国防総省によって管理されており、衛星自体が意図的にずれた位置データを送信することがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。
- 捕捉(受信)できる衛星の数が少ないときは、2次元測位となり、誤差が大きくなります。

※GPS測位は、場合によっては数mから50mぐらいの誤差が生じることがあります。

故障かな？と思ったら

ご使用中に不具合が発生したときには、下記の手順を順に行い、不具合の解消を試みてください。
それでも不具合が解消されない場合には、アフターサービスセンターへご相談ください。

本体機能

症状	原因	対処
電源が入らない。	電池パックの残量がない。	ACアダプターを接続して充電してください。または、別売のポータブルバッテリー(PES-8800など)を接続してください。
電池パックが充電されない。	ACアダプターの接触が悪い。	ACアダプターがしっかり接続されているか確認してください。
本機からの反応がない。	システムエラー。	内蔵バッテリーを抜き差しの上、再度電源をONにしてください。
タッチパネルの反応が遅い。	電池パックの残量が少ない。	電池パックを充電してください。または、別売のポータブルバッテリー(PES-8800など)を接続してください。
	タッチパネルの認識精度が低下している。	タッチパネルを調整してください。
音が出ない。	音量が最小になっている。	音量設定を調整してください。

ナビゲーション

症状	原因	対処
GPS信号が受信できない。	周囲に障害物がある。	障害物のない場所へ移動してください。
	近くで携帯電話や無線機を使用している。	携帯電話や無線機の使用をやめてください。
	雨、雪、曇天などの悪天候。	GPS信号が遮られ、受信しづらくなることがあります。
	最後にGPSを受信してから移動している。または長時間使用していない。	受信するまで時間がかかることがあります。受信するまでしばらくお待ちください。
現在位置が正しく表示されない。	電源OFFの状態で現在位置が変わった。	GPS信号を受信した状態でしばらくお待ちください。GPSを再測位すると正しい現在位置に補正されます。
	システムエラー。	GPSをリセットしてください。

- GPSをうまく捕捉できていないと思われる場合には、必ず「設定」-「GPSの初期化」設定を実施してください。

ヤマナビ2.5本体操作編

■本体名称

現在地キー

＜短押し＞

現在地表示キー：
　現在地を表示の上、GPS測位を開始します。

地図拡大キー：
　表示が現在地表示かつGPS測位中の時に
　本キーを押下すると地図縮尺が拡大されます。
　複数回、押下することで更に拡大していきます。

電源キー

＜単押し＞

LCDバックライトをONの状態にします。

＜長押し＞

電源開始：
　電源OFFの時に、本キーを約2-3秒連続押下
　にて電源ONとなります。

電源停止：
　電源ONの時に、本キーを約2-3秒連続押下
　にて電源OFFとなります。

※ヤマナビ動作中時に、操作された場合
　押下する時間が長く必要になります場合がございます。

LEDインジケーション

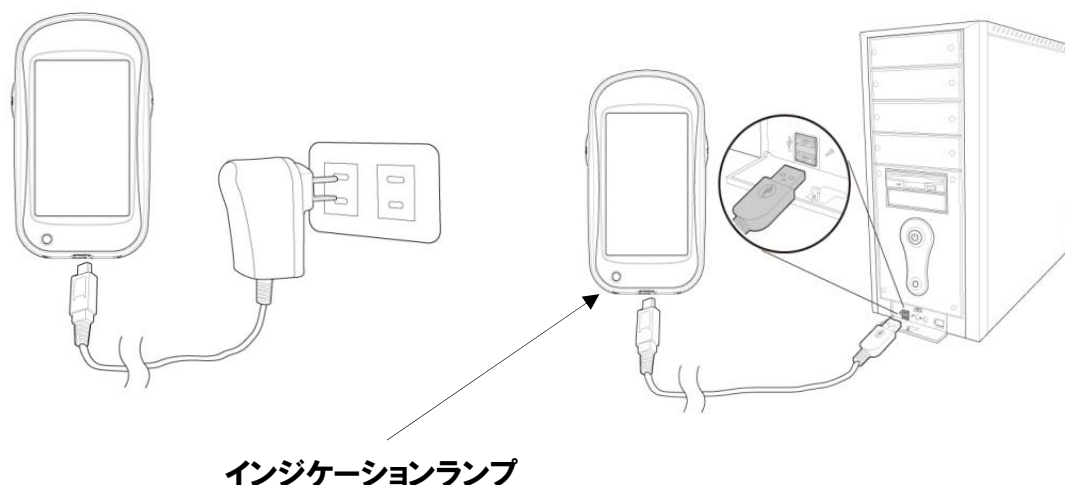
本体へ充電を行っている時に点滅します。

データ通信・充電ポート
（底面、ミニUSBコネクター）

付属のケーブルを使って本体への充電
やPCと接続して、データ通信を行う
ポートとなります。

■ヤマナビ2.5への充電方法

ヤマナビ2.5本体への充電は、商品付属のACアダプターを
使うことで充電が可能です。
また、ACアダプターを使わずにお客様お手持ちのPCのUSB
ケーブル等に接続することで充電することも可能です。
正常に充電が行われている時には、インジケーションランプ
が点滅致します。

PCのUSB端子から充電

（※付属のACアダプターデザインが予告なく変更する恐れがございます。）

■マイクロSDカード収納

マイクロSDカードは、内蔵バッテリーの下に配置
されております。保護プレートカバーを水平に「OPEN」に
ずらし垂直に持ち上げることでマイクロSDカードを搬出すること
が可能です。また、マイクロSDカードをセットしている場合は
保護プレートカバーが「LOCK」の位置に設定されているか
ご確認お願いします。
「LOCK」の位置に設定されていない場合、ヤマナビ動作に不具合
が発生する可能性がございます。

注：保護プレートカバーを水平に動かす場合、垂直に上げる時に
　　過度な力で行わないでください。破損の原因となります。

ヤマナビ2.5アプリケーション編

目　次

１．　はじめに　1

２．　ナビゲーションの起動と終了　2

２－１．　ナビの起動　2

２－２．　メニューの表示　3

２－３．　ナビの終了　3

３．　地図画面の操作　4

３－１．　地図の移動　5

３－２．　地図の拡大・縮小　5

３－３．　現在地表示と軌跡記録の開始　6

３－４．　GPSの受信状況の確認　7

３－５．　軌跡記録の終了　7

３－６．　基点登録　8

４．　メニューの操作　9

４－１．　自然地名検索　10

４－２．　駅検索　10

４－３．　住所検索　11

４－４．　電話番号検索　12

４－５．　施設検索　12

４－６．　周辺施設検索　13

４－７．　基点　13

４－８．　GPS軌跡　14

４－９．　GPS情報　14

４－１０．設定　15

目　次

５．　ルートの作成と編集 16
５－１．　ルート作成 16
５－２．　ポイントを記録する 16
５－３．　ポイントを消去する 17
５－４．　ルートを保存する 17
５－５．　断面図 18
５－６．　断面図の詳細情報 18
５－７．　断面図の範囲指定 19
５－８．　断面図の拡大・縮小 19
５－９．　断面図のスライド移動 19
５－１０．保存したルートの表示 20
５－１１．保存したルートの編集 20
６．　編集画面の操作 21
６－１．　データの選択 21
６－２．　データの削除 21
６－３．　データの登録名を変更する 22
７．　施設詳細画面の操作 23
７－１．　データの選択 23
７－２．　地図へ移動 23
８．　注意事項 24
９．　ヤマナビ機能リスト 25

１．はじめに

ヤマナビ２は、ＧＰＳ受信機を搭載した山登り用ポータブルナビゲーションシステムです。

この「取扱説明書」は、はヤマナビ2.5の機能の説明や基本的な使い方を掲載しております。

特に注意する事項を赤色で表示してあります。

1、ナビの起動

マイクロSDカードスロットにヤマナビ2.5専用
マイクロSDカードが挿入されていることを確認後、
本体電源キーを押下して下さい。

画面上に「MOVEON」ロゴ表示画面が表示され、
数秒後にヤマナビソフトが起動されます。

電源キーを押下しても立ち上がらない場合は、
バッテリー残量切れの可能性があります。
事前に充電を行うか、ACアダプターを接続した
状態で再度お試しください。

ナビが起動すると、起動画面が数秒間表示されて、
地図へ移動します。

※ナビの操作中はマイクロＳＤカードを絶対に
抜き差ししないで下さい。

2、メニューの表示

地図からメニューを表示するには、右下の「menu」ボタンをタッチします。

メニューに移動

3、ナビの終了

ナビを終了するには、右下の「終了」ボタンをタッチします。

※ヤマナビ2.5が終了し、電源がOFFとなります。

地図に戻るには、左下の「戻る」ボタンをタッチします。

メニューは全部で12種類あります。
それぞれのボタンをタッチすることで、各機能を使うことができます。

地図に移動　　ナビの終了

3. 地図画面の操作

地図画面の機能と操作方法を解説します。

※標高は実際とのズレが生じる場合があります。予めご了承下さい。

GPSボタン・・・GPSの受信状況を表示をします。またボタンをタッチして、軌跡の記録開始・終了の操作をします。

拡大・縮小ボタン・・・地図の拡大縮小します。現在の縮尺は右上に表示されます。

基点登録ボタン・・・任意の場所の登録します。毎回検索する手間を省きすばやく呼び出せるようになります。

メニューボタン・・・メニューへ移動します。

1、地図の移動

地図上をタッチすると、その位置が中心に来るように地図が移動します。

ここを
タッチ

タッチした場所が
中心位置に移動

<u>※このナビはスマートフォンで行うスワイプ（画面をタッチしながら滑らす）操作には対応していません。タップ（画面をタッチ）操作のみが可能です。</u>

2、地図の拡大・縮小

「縮小ボタン」「拡大ボタン」をタッチすると、地図が拡大・縮小します。
表示可能な地図の縮尺（スケール）は、以下のとおりです。

・ 50m ～ 100m ～ 250m ～ 1km ～ 2km ～ 5km ～ 10km ～ 30km

50m～2kmの縮尺では、「設定」にあるレリーフカラーと等高線の表示切り替えが可能です。

3、現在地表示と軌跡記録の開始

左上の「GPSボタン」をタッチすると、GPSからの電波の受信を開始します。

電波が受信できると、現在地の地図に移動します。
また、その軌跡を記録します。

軌跡の記録方法を決める「軌跡の保存設定」という設定画面が表示されますので、

- 新たに軌跡を記録する
- 前回の続きとして記録する

から選び、「OK」ボタンをタッチして下さい。

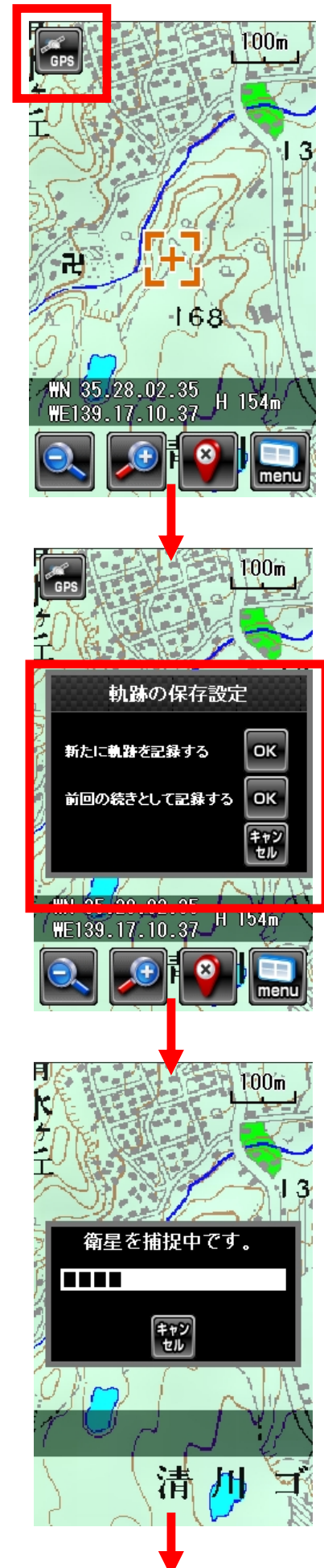
やめる場合は「キャンセル」ボタンをタッチします。
保存された軌跡は、メニューの「GPS軌跡」で確認することができます。

GPSの電波の受信を開始します。
受信するまでしばらくお待ち下さい。

やめる場合は「キャンセル」ボタンをタッチします。

※GPSの電波を受信する際は屋外で行って下さい。

※電源を入れたばかりの状態だと、GPSの電波を受信するまで十数分程度かかる場合がございます。

※それでも受信出来ない場合は、電波状況が良くない可能性があります。場所を変えて再度お試し下さい。

GPSから電波が受信できると、現在地に地図が移動します。

軌跡を記録中は、「●Rec」という赤い文字、および記録した軌跡を一定間隔で黄色の丸い点で描画します。

記録した軌跡

軌跡の記録中を示す「●Rec」

※軌跡の記録中、地図上をタッチして移動させたり、メニューに戻ったりしても記録は継続されます。

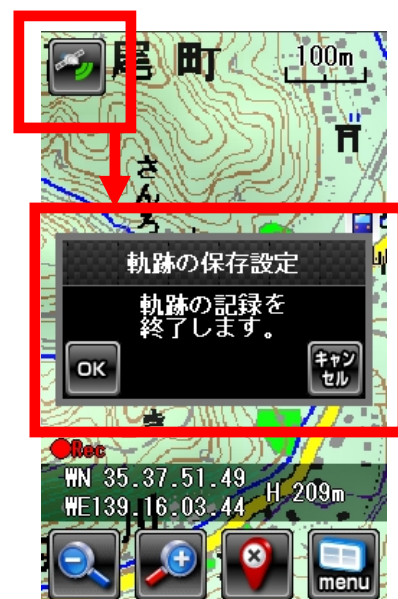
4、GPSの受信状況の確認

左上の「GPS」ボタンの表示で、電波の受信レベルを確認することができます。

5、軌跡記録の終了

左上の「GPS」ボタンをもう1度タッチすると、軌跡の記録を終了します。

「軌跡の保存設定」という確認画面が表示されるので、「OK」ボタンをタッチして下さい。

終了をやめる場合は「キャンセル」ボタンをタッチします。
保存された軌跡は、メニューの「GPS軌跡」で確認することができます。

6、基点登録

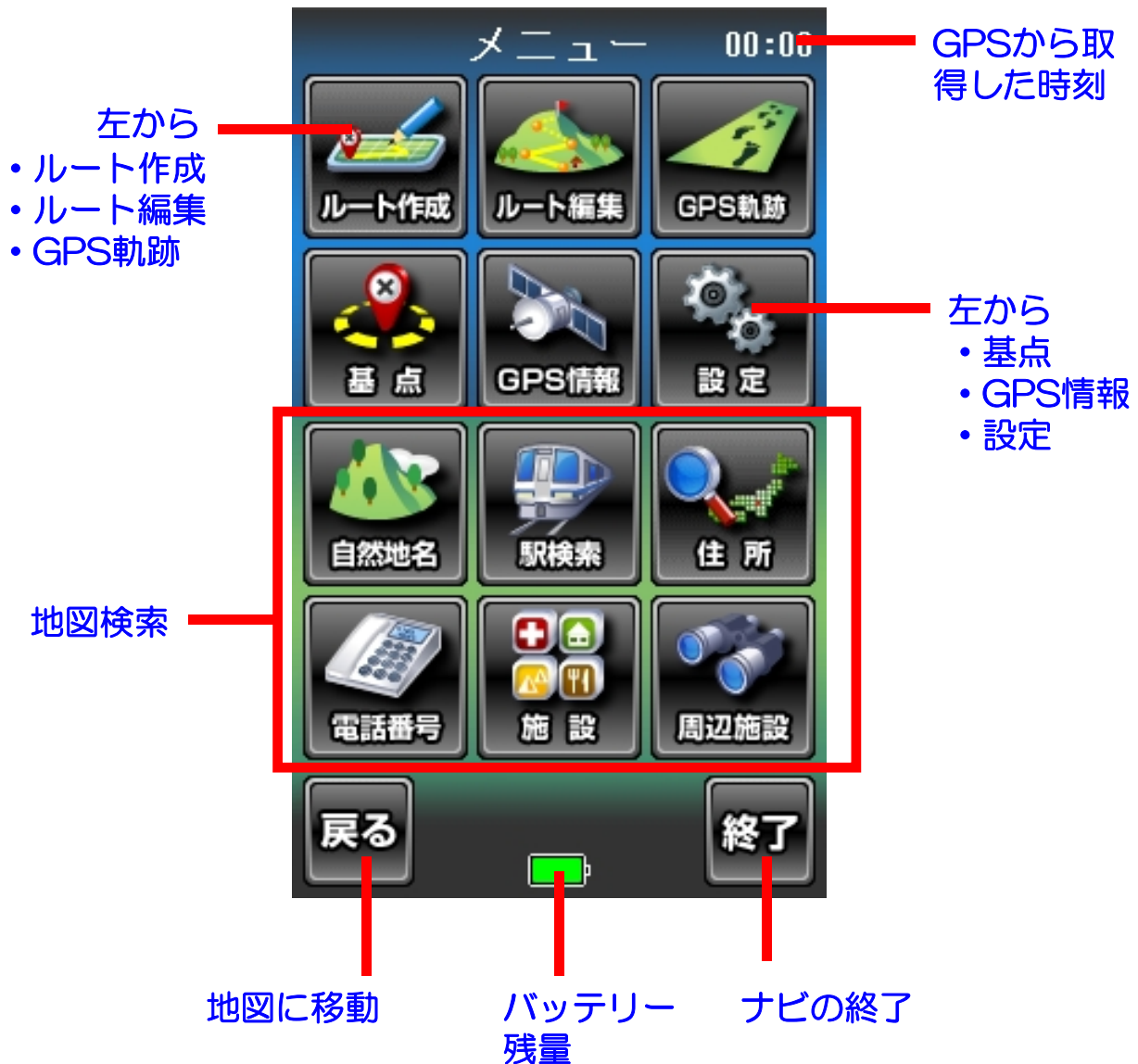
基点登録は、ユーザーが記憶しておきたい場所を登録しておいて、すばやく呼び出せるようにする機能です。

地図の中心位置に記憶しておきたい場所を持ってきて、下にある「基点登録」ボタンをタッチします。

「登録確認」画面が表示されるので、8種類のアイコンから好みの物をタッチします。そして、左下の「OK」ボタンをタッチします。
登録が完了すると、選んだアイコンと吹き出しが地図上に表示されます。

やめる場合は「キャンセル」ボタンをタッチします。
登録した基点は、メニュー操作から呼び出したり、編集ができます。

4. メニューの操作

メニューの機能と操作方法を解説します。

ルート作成・・・地図上にルートを作成します。

ルート編集・・・作成したルートの表示・編集、指定したルートを地図に表示します。

GPS軌跡・・・保存したGPS軌跡の表示・編集、指定したGPS軌跡を地図に表示します。

基点・・・登録した基点の表示・編集、指定した基点の地図へ移動します。

GPS情報・・・GPSの電波を受信している衛星状況を表示します。

設定・・・ナビ全般に関わる設定をします。

地図検索・・・「自然地名」「駅検索」「住所」「電話番号」「施設」「周辺施設」で検索して、指定した場所の地図へ移動します。

1、自然地名検索

文字パネルでキーワードを入力して「検索」ボタンをタッチします。
（入力は携帯電話方式）

検索結果がリストで表示されます。名称をタッチすると地図に移動します。

※部分一致で検索します。

※キーワードの指定は10文字までです。部分一致で検索しますので、名称が10文字より長い場合は、その一部分を指定して検索して下さい。

2、駅検索

文字パネルでキーワードを入力して「検索」ボタンをタッチします。
（入力は携帯電話方式）

検索結果がリストで表示されます。名称をタッチすると地図に移動します。

※部分一致で検索します。

3、住所検索

都道府県を文字パネル（あ行・た行等）で絞り込んでタッチします。以下、市区町村も同様に絞り込みます。
最後は番地を数字パネルで入力して「地図」ボタンをタッチすると、地図へ移動します。
また、最後まで絞り込まずに途中でも地図を表示できます。

例、東京都八王子市東浅川町313-2

「た」行をタッチ

東京都をタッチ

「は」行をタッチ

八王子市をタッチ

「は」行→東浅川町をタッチ

「313-2」と入力して「地図」を タッチ

4、電話番号検索

数字パネルで電話番号を入力して「検索」ボタンをタッチします。

データが見つかると、施設名が下に表示されます。「地図」ボタンをタッチすると地図に移動します。

※電話番号は約300万件が登録されています。

5、施設検索

文字パネルでキーワードを入力して「検索」ボタンをタッチします。
（入力は携帯電話方式）

検索結果がリストで表示されます。名称をタッチすると地図に移動します。

※部分一致で検索します。

6、周辺施設検索

目的のジャンルをタッチします。

検索結果がリストで表示されます。名称をタッチすると地図に移動します。

※現在の中心位置から10km圏内にある施設を距離の近い順にリストで表示します。

7、基点

目的のアイコンをタッチします。

指定したアイコンで登録した基点がリストで表示されます。名称をタッチすると地図に移動します。

※登録方法については、「基点登録」の項目を確認して下さい。

8、GPS軌跡

記録したGPS軌跡が
リストで表示されます。

名称をタッチすると地図
に移動して、赤の丸い点で
GPS軌跡が表示されます。

9、GPS情報

衛星の捕捉ができたら、
現在の衛星の捕捉状況を
表示します。

※GPSの電波を受信する際は屋外で行って下さい。

※電源を入れたばかりの状態だと、GPSの電波を受信するまで十数分程度かかる場合がございます。

※それでもGPS情報が受信出来ない場合は、電波状況が良くない可能性があります。場所を変えて再度お試し下さい。

10、設定

各種設定をします。
設定した内容は、ナビを終了して電源を切っても保持されます。
項目をタッチして、ON・OFFを切り替えます。チェックが付いているときが、ONの状態です。

レリーフカラー・・・地図にグラデーション表示するか（50m～2kmの縮尺内）

等高線・・・地図に等高線を表示するか（50m～2kmの縮尺内）

施設アイコン・・・地図に施設アイコンを表示するか

世界測地系・・・緯度経度を世界測地系にするか（OFFなら日本測地系）

GPS安定範囲・・・GPSによる現在地が安定してからGPSの軌跡を記録するか

省電力・・・省電力モードにするか

タッチ音・・・画面をタッチしたときに音を鳴らすか

液晶輝度・・・画面のコントラストを「－」「＋」ボタンで調整します。

液晶消灯・・・液晶の自動消灯時間を「＜」「＞」ボタン設定します。

GPSリセット・・・捕捉している衛星をリセットして、再取得します。

USB接続・・・「開始」ボタンをタッチしてUSB接続モードを開始します。

※GPSから電波を受信開始した時点では安定しません。
ある程度の範囲に現在地が分散しますが、しばらく経過すると範囲が絞られて、最終的に現在地が定まります。

※「GPS安定範囲」をONにすると、現在地の表示に多少の時間をより要しますが、誤差が少なくなるというメリットがあります。

5. ルート作成と編集

メニューの「ルート作成」と「ルート編集」の機能について解説します。

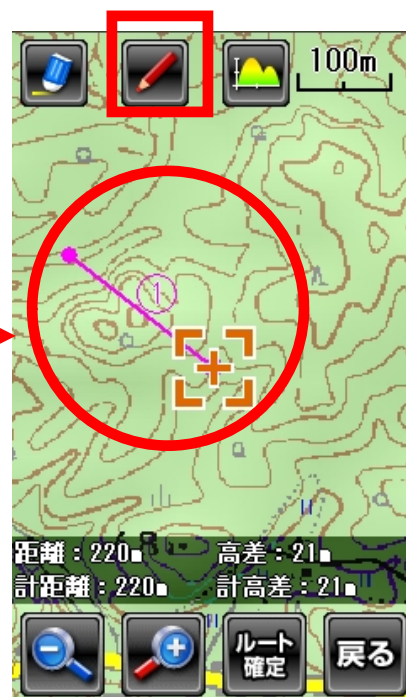
1、ルート作成

ルート作成用の地図で、ポイントを記録していって、直線を結ぶことでルートを作成します。

2、ポイントを記録する

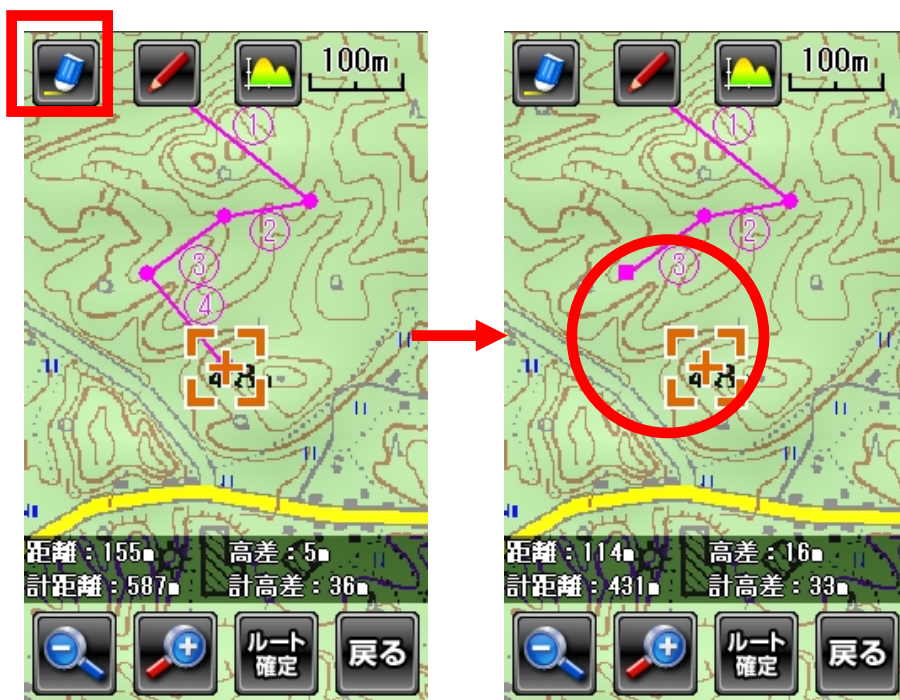
ポイントを記録する場所を中心位置に持ってきて、上の「えんぴつボタン」をタッチします。

次のポイントに移動して記録すると、ピンクの直線が引かれます。

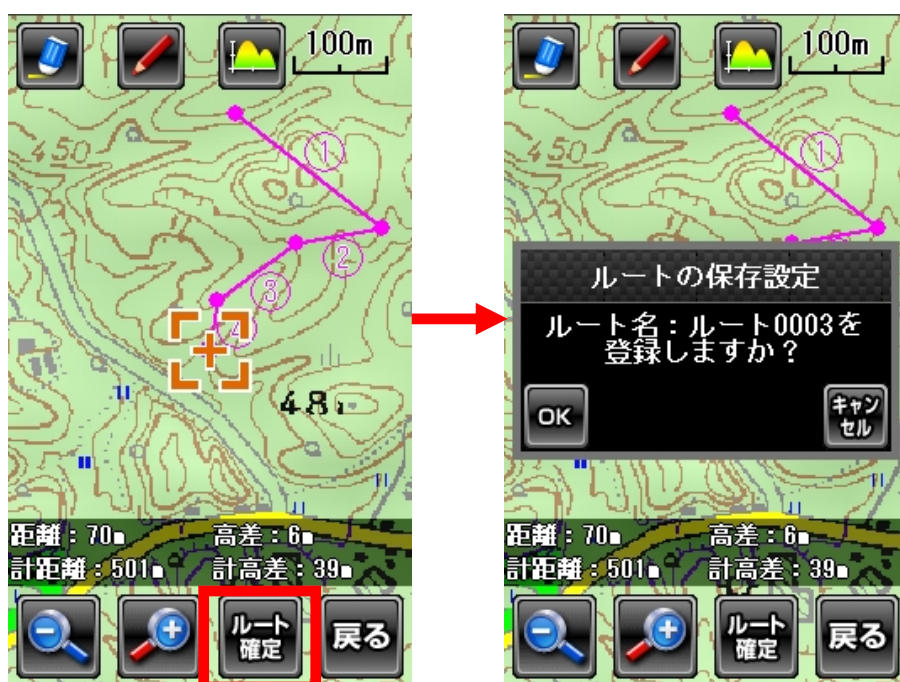
この操作を繰り返して、ルートを作成します。

最初のポイント　　次のポイント

3、ポイントを消去する

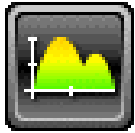
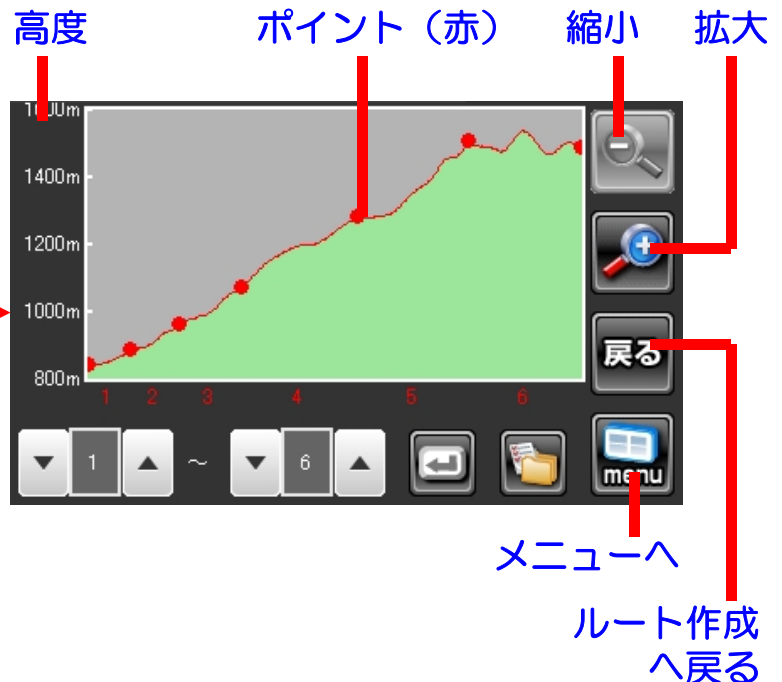
ルート作成中に間違えて記憶したポイントを消去したい場合は、
上の「消しゴム」ボタンをタッチして消去します。直前に記録したポイントが消去されます。

続けて「消しゴム」ボタンをタッチすると、その次の直前のポイントが、消去されます。

4、ルートを保存する

ルート作成が完了して保存する場合は、右下の「ルート確定」ボタンをタッチします。

「ルートの保存設定」画面が表示されるので、「OK」ボタンをタッチすると保存が完了します。

やめる場合は「キャンセル」ボタンをタッチします。
保存したルートは、メニューの「ルート」から呼び出したり、編集ができます。

※ポイントが2個以上記録されていないと、ルートの保存はできません。

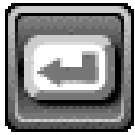
5、断面図

上の「断面図」ボタンをタッチすると、表示中のルートの断面図を確認することができます。

6、断面図の詳細情報

右下の「詳細」ボタンをタッチすると、以下の断面図の情報を表示します。

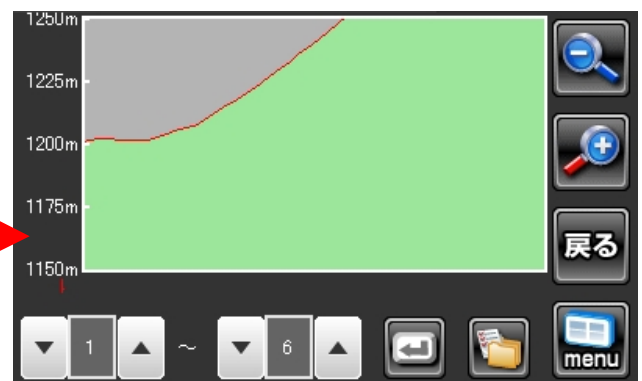
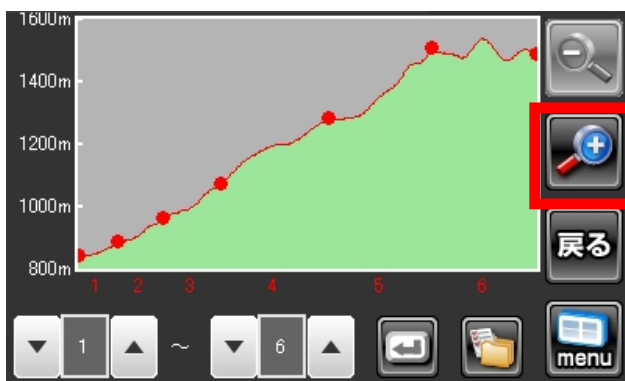
両端の地点（ポイント）の
高度・高度差・距離・予測時間。
指定範囲の始点から見て、
上方の高度差の最大値→最高差・
下方の高度差の最大値→最低差。

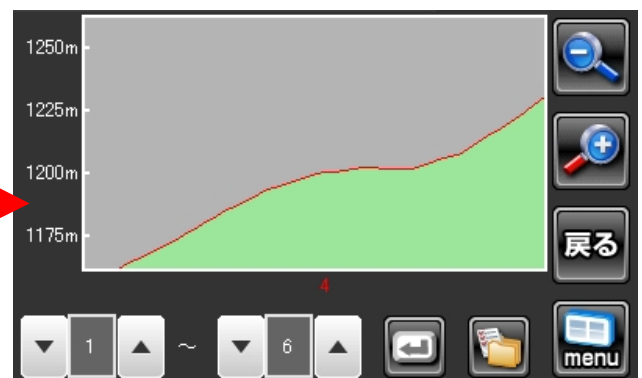
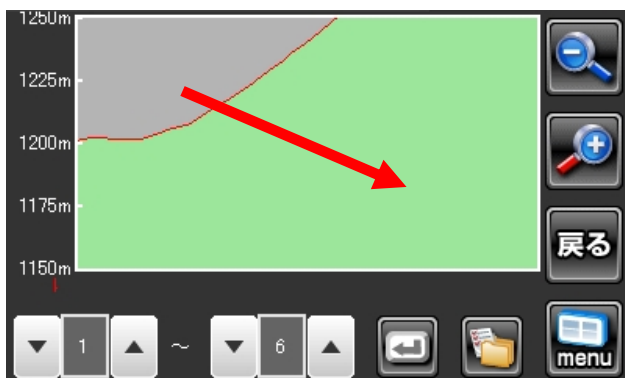
※標高は実際とのズレが生じる場合があります。予めご了承下さい。

※予測時間は徒歩によるものですが、あくまで目安としてお考え下さい。

7、断面図の範囲指定

左下の「▼」「▲」ボタンをタッチして、範囲を決めてから右下の「確定」ボタンをタッチすると、断面図の表示範囲が変わります。

8、断面図の拡大・縮小

「縮小ボタン」「拡大ボタン」をタッチすると、断面図が拡大・縮小します。

9、断面図のスライド移動

拡大した断面図をタッチしながらスライドすると、移動することができます。

10、保存したルートの表示

保存したルートがリストで表示されます。

名称をタッチすると地図に移動して、ルートが表示されます。

11、保存したルートの編集

記録したルートのリストから、編集するルートの名称をタッチし続けると、編集画面に移動します。

「ルート編集」ボタンをタッチすると、ルート作成画面に移動します。

6. 編集画面の操作

基点・GPS軌跡・ルートで記録されたデータは編集することができます。

1、データの選択

基点・GPS軌跡・ルートのリスト画面で、編集する名称をタッチし続けると、編集画面に移動します。

2、データの削除

編集画面で、下の「削除」ボタンをタッチします。

確認画面が表示されるので、「OK」ボタンをタッチすると削除が完了します。

やめる場合は「キャンセル」ボタンをタッチします。

3、データの登録名を変更する

基点・GPS軌跡・ルートは、ナビが自動的に登録名を設定します。
その登録名は編集画面で変更することができます。

文字パネルの右下にある黄色の「削除」ボタンをタッチして、一文字ずつ消去します。

登録名を入力するには、文字パネルをタッチして入力します。文字パネルの右下の「文字種」ボタンをタッチすると、文字の種類が変更されます。

入力方法は、携帯電話のようにします。
「え」を入力する場合は、「あ」を４回続けてタッチします。「いい」と同じ文字を連続で入力する場合は、「い」を入力後、少し間を空けるとカーソルが右に移動するので、そのあと「い」を入力します。

登録名を変更したら下にある「登録」ボタンをタッチします。

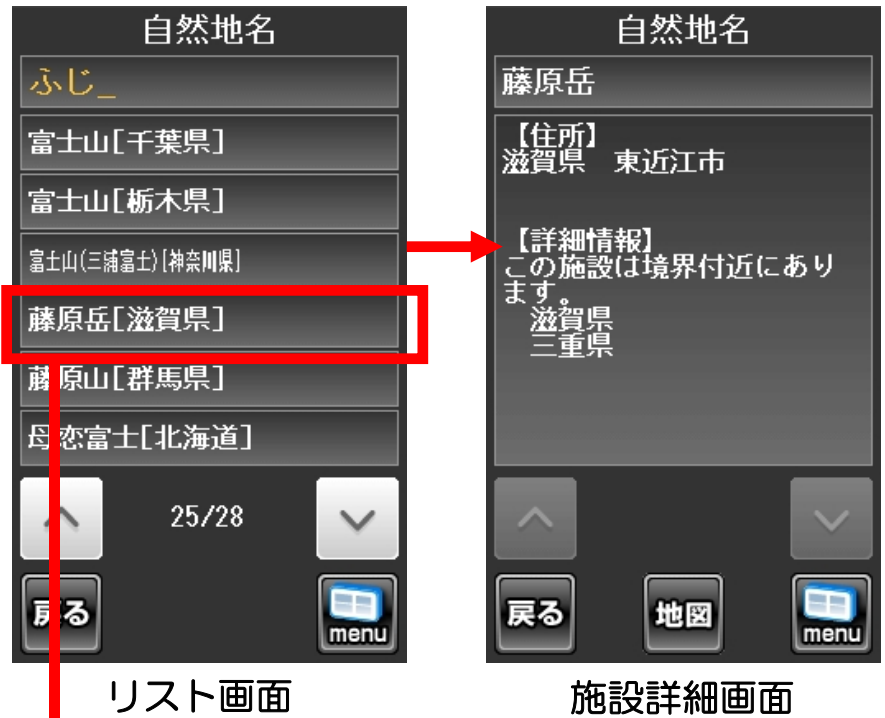
確認画面が表示されるので、「OK」ボタンをタッチすると登録が完了します。

やめる場合は「キャンセル」ボタンをタッチします。

7. 施設詳細画面の操作

自然地名・駅検索・施設・周辺施設で検索した施設の詳細情報を表示することができます。

1、データの選択

自然地名・駅検索・施設・周辺施設で検索したあと表示されるリスト画面で、詳細を確認したい名称をタッチし続けると、施設の詳細情報を表示します。

リスト画面　施設詳細画面

タッチし続けます

2、地図へ移動

施設詳細画面で、
「地図」ボタンををタッチすると地図に移動します。

「戻る」ボタンをタッチすると、検索結果のリスト画面に戻ります。

施設詳細画面

8. 注意事項

●<u>機器のフリーズ</u>

・ マイクロSDカードを操作途中で抜いたり、バッテリーの残量が少なくなったりした際、操作が出来なくなったり、ソフトの動作が不安定になったりする場合があります。

・又は、画面上に「’ＸＸＸＸ’（またはいずれかの構成ファイル）が見つかりません。パスとファイル名が正しく、必要なライブラリが使用可能であることを確認して下さい。」というメッセージが出たりする場合があります。

・その際は電源を入れ直す、もしくは一旦、内蔵バッテリーを抜いて下さい。

9. ヤマナビ機能リスト

●ハードウェアスペック

本体部	モニター	サイズ	縦型3.0インチ(タッチパネル式)
		画素解像度(ドット)	400x240ドット(QVGA)
		駆動方式	TFTアクティブマトリクス方式
		アスペクト比	4:3
		タッチパネル	●
		表示輝度調整	●(手動)
	音声部	ブザー	●
		個数	1個
		ヘッドフォン出力	×
	測位システム	GPSアンテナ	本体内蔵
	システム	ナビゲーションデータベース	ヤマナビ:マイクロSDカード内蔵
		内蔵バッテリー	●(リチウムポリマー,1050mAh)
		拡張インターフェース	●(マイクロSDHCカードスロット)
	インターフェース	電源供給	DC5V(付属アダプター接続時)
		ミニUSBインターフェース	●
		バッテリー電源	●
		本体電源	●
	付属品	ナビゲーション本体	●
		ヤマナビ用マイクロSDカード	●
		AC電源ケーブル	●
		取扱説明書	●
		USBケーブル	●
		ネックストラップ	×
		防水携帯ケース	×
	その他	バッテリー駆動時間	(フル充電時) 約10時間(通常モード) 約12時間(省エネモード、操作小) (※ご利用方法により大きく変わります)
		外形寸法	58(W)x105(H)x23(T)mm
		質量	122g(内蔵バッテリー収納時)

●ソフトウェアスペック

ヤマナビ (本体付属 マイクロSDカード に収録)	地図データベース	地図データベース	国土地理院
		データベース使用種類	2万5千分の1地形図(地域ごと) 5万分の1地形図(地域ごと) 20万分の1地形図(全国) 20万超の1陰影図(全国) 50mメッシュ標高データ(全国)
		エリア	東日本版(8GB マイクロSDカード) 西日本版(8GB マイクロSDカード)
		縮尺切り替え	●
	地図表示	地図表示向き	ノースアップ(常時「北」を上方表示)
		等高線表示	●(10m,20m,100m)
		登山道表示	●
		地形陰形	●
		立体カラー表現	●
	検索	住所検索	●(約1300万件)
		施設名称入力検索	●(約250万件)
		電話番号検索	●(約1000万件)
		駅検索	●(約1万件)
		周辺検索	●(約60万件)
		自然地名検索	●(約6万件)
	登山ルート設定	基点登録	●(800ヶ所(8ピン×100))
		GPS軌跡ログ	●(100件)
		登山ルート登録	●(100件)

ソフトウェア使用許諾契約書

お客様とムーブオン株式会社（以下当社といいます）は、本製品（ヤマナビ２．５）に含まれるコンピュータソフトウェア及び地図等のデータ（以下契約ソフトといいます）の使用権および使用方法に関して以下の事項を確認します。

1.使用条件
お客様は、本ソフトウェア製品をヤマナビ本体コンピュータ（以下、「お客様のコンピュータ」という）で使用することができます。本ソフトウェア製品の構成部分を切り離して複数のコンピュータで使用することはできません。お客様には、本ソフトウェア製品を使用するためにお客様のコンピュータの一時メモリ（RAM）にソフトウェア製品を読み込ませることができるものとします。

2.譲渡の禁止
お客様は、第三者に契約ソフトおよびそれを複数または改造したものの占有を移転し、または使用権を譲渡・貸与することはできません。また、お客様には、本ソフトウェア製品を頒布する権利はありません。

3.契約ソフトの複製
お客様は、契約ソフトが本体機器に組込みまれているため、その保存・バックアップのために、契約ソフトの複製を行うことはできません。ただし、本ソフトウェア製品が破損して使用できなくなった場合には、保証規定に従い当社から交換を受けることができます。

4.著作権
契約ソフトおよびそれを複製したものの著作権は、理由の如何にかかわらず当社に帰属します。

5.契約期間
本契約は、お客様が契約ソフトの使用を開始した日に発効し、お客様が契約ソフトの使用を止められるとき、または本製品のアップグレード品による契約が結ばれるまで有効とします。ただし、お客様が本契約のいずれかの条項に違反した場合、当社は本契約を一方的に終了させていただくことがあります。

6.契約終了後の義務
お客様は、契約が終了した以降は、契約ソフトを一切使用できないものとします。

7.当社の責任
当社は、お客様が契約ソフトの使用によって発生した直接的、間接的な損害に対して一切責任を負わないものとします。当社が上記以外の損失について責任を負ういかなる場合においても、当社の　責任は、本製品の標準価格の金額を超えないものとします。

ムーブオン株式会社

メモ

お問い合わせはアフターサービスセンターへ

＜アフターサービスセンター＞

E-Mail：afterservice@moveon-japan.co.jp

電話：042-668-8424

受付時間　10:00～12:00　13:00～17:00（土日、祝日、弊社休業日を除く）

注）　電話でのお問い合わせは混雑が予想されます。E-Mailによるお問い合わせをおすすめします。

ムーブオン株式会社
〒193-0834
東京都八王子市東浅川313-2

保証について

●保証書について
このページの下部に保証書が添付されています。
保証書は再発行できませんので、本説明書を大切に保管してください。

●保証期間について
この製品の保証期間は、お買い上げの日から1年間です。

●保証期間中の修理について
万一、故障が生じたときは、当社規定に基づいて無償修理させていただきます。アフターサービスセンターにご連絡ください。

●保証期間経過後の修理について
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

<切り取り線>

保証書

ムーブオン株式会社

機種名　ポータブルナビゲーション　NVG-M2.5 ヤマナビ2.5		
お客様	お名前	
	ご住所	〒 TEL
保証期間　1 年間		

※ 保証書の所定事項をご記入のうえ、保証書をきりとり線から切り離し、製品と一緒にナビポタ .com アフターサービスセンターへお送りください。